申請書等の様式

**１　河川法第２０条（河川管理者以外の者の施行する工事等）申請**

**２　河川法第２４条（土地の占用）申請**

**３　河川法第２４条・第２６条第１項(土地の占用及び工作物の新築等)申請**

**４　河川法第２５条（土石等の採取）申請**

**５　河川法第２７条第１項（土地の掘削等）申請**

**６　河川法施行令第１６条の５（汚水の排出の届出）**

**７　河川法第３３条第３項（地位の承継届）**

**８　河川法第３４条第１項（権利の譲渡）申請**

**９　その他簡易な申請**

**10　砂利採取法第１６条（採取計画の認可）申請**

**11　砂利採取法第２０条第１項（変更の認可）申請**

**12　着手届**

**13　完了届**

**14　廃止届**

**１　法第２０条（河川管理者以外の者の施行する工事等）申請**

〔承認申請書〕

|  |
| --- |
| 承　認　申　請　書　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（文 書 番 号）・・①　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和○年○月○日 九州地方整備局長　殿　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　申請者　住所　○○市○○町○○番地・・②　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　○　○　○　○ 　　・・③　別紙のとおり河川法第２０条の承認を申請します。　　　　　　　　　　　　　・・④ |
|

（Ａ４版）

〔別紙〕

|  |
| --- |
| （河川工事）・・⑤１　河川の名称‥⑥○○川水系○○川○岸２　日　的・・⑦○○橋（県道）架設のための護岸設置３　場　所・・⑧○岸　○○ｋ○○付近○○県○○市○○町○○番地先４　工事の名称又は種類高水敷護岸新築工事５　工作物の名称又は種類高水敷護岸６　工作物の構造又は能力平板ブロック護岸　○○○㎡７　工事の実施方法・・⑨築堤工事を施工高まで行い、法尻に護岸工の基礎を造る。護岸を施工するため法面を掘削し、帯コン（２０ｍおき）施工するクラシャーラン（４０～０）を厚さ１５㎝に敷き、上に平板ブロックを並べ終了した後にメジを詰める。８　工期承認の日から○○日間９　工事の設計及び実施計画添付図書のとおり |
|

（Ａ４版）

**【記載要領】**

①　申請者が公共団体又は法人等であって文書番号による整理がなされているときは、文書番号を併記してください。個人申請については、必要ありません。

②　公共団体又は法人等についても「字○○番地」まで記載してください。

③イ　申請者が公共団体又は法人である場合においては、その公共団体又は法人の名称及び代表者の氏名を記載してください。

ロ　共同申請の場合は、共同申請人の氏名をすべて列記してください。

ハ　法人等の出先機関が、当該出先機関名で申請する場合は、申請する権限を有することを証する書面を添付してください。

二　河川法施行規則の改正により、押印は不要となりました。

　　（令和2年12月23日　官報号外第267号）

④　法第９５条の規定による国の特例の場合についてもこの様式を準用します。この場合「許可申請書」を「協議書」とし、協議文は「別紙のとおり河川法第２０条の承認について同法第９５条の規定により協議します。」と記載してください。

⑤　この様式は、河川工事に係る承認申請の場合のものですが、河川の維持に係る承認申請の場合もこれに準じて作成してください。

⑥　水系名、河川名、左右岸（河口に向かって）の別を記載してください。

⑦　河川工事又は河川の維持の目的を具体的に記載してください。

⑧　「字○○○○番地先」まで記載してください。当該工作物の敷地が数個の「字」にわたる場合は原則としてそのすべてを記載し、数個の地番にわたる場合に「字」ごとに代表的なものを記載してください。河川の距離標を明記してください。

⑨　申請工作物が完成に至るまでの工程、工法等がよくわかるように記載してください。また、工事の実施に当たっての治水上の措置、仮排水路及び工事に当たっての仮設物の措置等も記載してください。

〈提出部数〉申請書・添付図書　正本１部　写し１部

**【添付図書】**

**１　工事の実施計画及び財産の処分方法を記載した図書**

**２　位置図**

縮尺は１／５０，０００とし、申請箇所を○印で表示し「申請箇所」と朱書してください。

**３　河川工事に係る土地の実測平面図**

①　縮尺は１／５００程度としますが、地形の状況によっては１／１００～１／１，０００でもかまいません。

②　実測年月日を付記してください。

③　申請に係る行為によって、当該河川に影響があると判断される区域まで実測したものとします。

④　堤防、護岸、水制、寄洲等の状況、流水の方向等必要なものは図示し、申請区域及び関連施設等について平面的な外形配置の分かる図面にしてください。

⑤　河川区域線を赤線で、官民境界線を赤点線で記入してください。

⑥　横断図と照合できるよう横断図の測点を記入してください。

**４　河川工事に係る土地の縦断面図**

申請した河川工事に係る工作物と河床（現況河床高及び計画河床高）と河川管理施設との関係が分かる図面にしてください。

**５　河川工事に係る土地の横断図**

①測点間隔は、５０ｍ以内としてください。

②　申請工作物と河床（現況河床高及び計画河床高）と河川管理施設との関係が分かる図面にしてください。

なお、浚渫工事の場合には河床（現況河床高及び計画河床高）と浚渫工事における計画地盤高との関係が分かる図面にして下さい。

③　河川区域、官民境界線、計画高水位を明示してください。

**６　河川工事に係る工作物の設計図**

　工作物の除却にあっては、構造図を添付してください。

**７　工程表**

　雨天等を勘案して作成してください。

**８　工事費概算書**

　総体金額及びその内訳を記載した書面

**９　土地登記簿附図（公図）**

　申請箇所の平面的な形を赤色で記入してください。

**10　申請に係る行為又は事業に関する他の行政庁の許可、認可の取得又はその見込みに関する書類**

許可書、認可書等の写し。なお、該当するものがない場合にはその旨を記載してください。

**11　その他参考となるべき事項を記載した図書**

　①　行為面積計算書（＊浚渫工事等、土地の形状を変更する工事の場合のみ。）

②　土地の形状を変更する工事の場合において、土砂等の搬入又は搬出を伴う場合にあっては、搬入、搬出の経路を示した図書

**２　法第２４条（土地の占用）申請**

〔許可申請書〕規則別記様式第８（甲）

|  |
| --- |
| 許　可　申　請　書　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（文 書 番 号）・・①　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和○年○月○日 九州地方整備局長　殿　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　申請者　住所　○○市○○町○○番地・・②　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　○　○　○　○　　　・・③　別紙のとおり河川法第２４条の許可を申請します。　　　　　　　　　　　　　・・④ |
|

（Ａ４版）

〔別紙〕規則別記様式第８（乙の２）

|  |
| --- |
| （土地の占用）１　河川の名称‥⑤○○川水系○○川○岸２　占用の目的及び態様‥⑥運動場（○○市で管理し、申込みによって使用させる。）３　占用の場所‥⑦○岸　○○k○○付近○○市○○町○○番地先（添付図書の実測平面図に○色で着色した部分）４　占用面積・・⑧○○○．○○㎡５　占用の期間‥⑨許可の日から令和○○年○月○日まで⑩ |
|

（Ａ４版）

**【記載要領】**

①　申請者が公共団体又は法人等であって文書番号による整理がなされているときは、文書番号を併記してください。個人申請については、必要ありません。

②　公共団体又は法人等についても「字○○番地」まで記載してください。

③イ　申請者が公共団体又は法人である場合においては、その公共団体又は法人の名称及び代表者の氏名を記載してください。

ロ　共同申請の場合は、共同申請人の氏名をすべて列記してください。

ハ　法人等の出先機関が、当該出先機関名で申請する場合は、申請する権限を有することを証する書面を添付してください。

二　河川法施行規則の改正により、押印は不要となりました。

　　（令和2年12月23日　官報号外第267号）

④　法第９５条の規定による国の特例の場合についてもこの様式を準用します。この場合「許可申請書」を「協議書」とし、協議文は「別紙のとおり河川法第２４条の許可について同法第９５条の規定により協議します。」と記載してください。

⑤　水系名、河川名、左右岸（河口に向かって）の別を記載してください。

⑥　田、畑、運動場、公園等のために使用する旨を記載し、さらにその使用方法の概要を記載してください。なお、占用期間の更新許可の申請の場合は、「占用期間の更新のため」と記載してください。

⑦　「字○○○番地先」まで記載してください。当該工作物の敷地が数個の「字」にわたる場合は原則としてそのすべてを記載し、数個の地番にわたる場合には「字」ごとに代表的なものを記載してください。河川の距離標を明記してください。

⑧　小数点第３位以下の端数を切り捨てた数量を記載してください（（注）不動産登記法施行令第４条に準拠）。

なお、占用区域が２県以上にまたがる場合は、内訳として○○県○○．○○㎡、○○県○○．○○㎡と記載してください。

⑨　下記の期間が許可の基準とされていますので、その範囲で必要最小限の占用期間を記入してください。

イ　河川敷地占用許可準則第七第一項第一号から第七号までに規定する占用施設は、１０年以内。

ロ　グライダー練習場、ラジコン飛行機滑空場でその他周辺環境に影響を与える施設は５年以内。

ハ　準則には適合していないが、既に許可しているものは、３年以内。

二　一時的な占用の許可については、１年以内。

⑩　許可を受けた事項の変更の許可の申請にあっては、変更しない部分についても記載し、かつ変更する事項については、変更前のものを赤字で併記してください。

〈提出部数〉申請書・添付図書　正本１部　写し１部（局長決裁分は１部追加）

**【添付図書】（規則第１２条第２項）**

**１　事業の計画の概要を記載した図書**

①　事業計画の必要性

②　事業主体の概要

③　予想される利用の形態

④　事業の実行に係る申請者の経済的、技術的能力が判断される書面

⑤　その他参考となるべき事項

イ　他の河川使用者に対する影響及びその対策

ロ　その他

**２　位置図**

縮尺は１／５０，０００とし、申請箇所を○印で表示し「申請箇所」と朱書してください。

**３　実測平面図**

①　縮尺は１／５００程度としますが、地形の状況によっては１／１００～１／１，０００でもかまいません。

②　実測年月日を付記してください。

③　申請に係る行為によって、当該河川に影響があると判断される区域まで実測した図面とします。

④　堤防、護岸、水制、寄洲等の状況、流水の方向、道路等を図示した申請に係る占用区域の平面的な外形及び河川改修計画の法線を明示してください。

⑤　河川区域線を赤線で、官民境界線を赤点線で記入してください。

⑥　横断図と照合できるよう横断図の測点を記入してください。

**４　面積計算書及び丈量図**

①　原則として実測平面図と同一のものを使用してください。

②　面積計算は㎡を単位とし、原則として三斜法により小数点第３位まで計算し、合計面積は、小数点第３位を切り捨て、小数点第２位まで記載してください。

　　なお、ＣＡＤによる面積算出でもよい。

**５　申請に係る行為又は事業に関する他の行政庁の許可、認可の取得又はその見込みに関する書類**

許可書、認可書等の写し。なお、該当するものがない場合にはその旨を記載してください。

**６　その他参考となるべき事項を記載した図書**

①　横断図

イ　縮尺は１／１００～１／１，０００とし、地形の状況によっては縦横の縮尺が異なってもかまいません。

ロ　占用区域を明示し、河川区域、官民境界線、計画高水位等を明示してください。

ハ　改修計画を記入するため、標高を記入してください。

②　意見書

必要がある場合は、市町村長の意見書を添付してください。

③　許可申請書に係る現場の状況写真

④　その他

**７　添付図書の省略等**

イ　変更許可申請の場合

許可を受けた事項の変更の許可申請にあっては、添付図書のうち変更に関する事項を記載したものを添付すれば足りますが、変更の趣旨及び理由を記載した書面並びに既許可に係る許可書の写しを添付してください。

ロ　許可に係る行為が軽易なものであることその他の理由により添付図書の全部を添付する必要がないと認められるときは、当該図書の一部を省略することができます（規則第４０条第４項）。

**３　法第２４条・第２６条第１項（土地の占用及び工作物の新築等）申請**

〔許可申請書〕規則別記様式第８（甲）

|  |
| --- |
| 許　可　申　請　書　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（文 書 番 号）・・①　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和○年○月○日 九州地方整備局長　殿　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　申請者　住所　○○市○○町○番地・・②　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　○　○　○　○ 　　・・③　別紙のとおり河川法第２４条，２６条第１項の許可を申請します。　　　　　　　　　　　　　　　　　・・④ |
|

（Ａ４版）

〔別紙〕規則別記様式第８（乙の４）

|  |
| --- |
| （工作物の新築、改築、除却）・・⑤１　河川の名称・・⑥○○川水系○○川左岸右岸２　目的・・⑦○○橋（県道）架設のため　３　場所・・⑧ ○岸　○○k○○付近左岸　○○県○○市○○町○○番地先右岸　○○県○○郡○○町字○○○○番地先（添付図書の実測平面図に赤色で着色した部分）４　工作物の名称又は種類○○橋（県道○○線）延長○○ｍ（うち河川区域内延長○○ｍ）幅員○○ｍ５　工作物の構造又は能力イ　橋台　２基　鉄筋コンクリート造りロ　橋脚　１０基　鉄筋コンクリート造り　径○○ｍ　ハ　橋桁　１０連　鋼製（内訳）　 支間　○○ｍ　７連　　　　　　　　　〃　○○ｍ　３連〃　○○ｍ　３連ニ　荷重　○○ｔホ　橋梁上部及び取付道路　コンクリート舗装（その他申請書添付図書に示すとおり）６　工事の実施方法・・⑨右岸側の橋台及び橋脚を施行するため渇水期に牛類（聖牛）により、左岸側に瀬回し　を行い、右岸側が完了してから同様な方法で左岸側を施行する。特に橋台を施行する場合は、　降雨期を避けるよう配慮している。下部工事は平成○○年度中において完成し、上部工事は平成○○年度から○年間で施行する。なお、旧橋は新橋の完成後撤去する。工事の段取りの詳細は、別添工程表のとおりであり、仮材料置き場等に河川敷を一時使用することについては、別添図面に示すとおりである。７　工期許可の日から令和○○年○月○日まで８　占用面積・・⑩○○○．○○㎡９　占用の期間・・⑪許可の日から令和○○年○月○日まで⑫⑬ |
|

（Ａ４版）

**【記載要領】**

①　申請者が公共団体又は法人等であって文書番号による整理がなされているときは、文書番号を併記してください。個人申請については、必要ありません。

②　公共団体又は法人等についても「字○○番地」まで記載してください。

③イ　申請者が公共団体又は法人である場合においては、その公共団体又は法人の名称及び代表者の氏名を記載してください。

ロ　共同申請の場合は、共同申請人の氏名をすべて列記してください。

ハ　法人等の出先機関が、当該出先機関名で申請する場合は、申請する権限を有することを証する書面を添付してください。

二　河川法施行規則の改正により、押印は不要となりました。

　　（令和2年12月23日　官報号外第267号）

④　法第９５条の規定による国の特例の場合についてもこの様式を準用します。この場合「許可申請書」を「協議書」とし、協議文は「別紙のとおり河川法第２４条及び２６条第１項の許可について同法第９５条の規定により協議します。」と記載してください。

⑤　該当するものを記載してください。

⑥　水系名、河川名、左右岸（河口に向かって）の別を記載してください。

⑦　「○○橋（県道）架設のため」「○○排水樋管設置のため」「坂路設置のため」等、その目的を具体的に記載してください。

⑧　「字○○○○番地先」まで記載してください。なお、工作物が左右岸にまたがる場合は、左岸右岸に分けて記載してください。当該工作物の敷地が数個の「字」にわたる場合は原則としてそのすべてを記載し、数個の地番にわたる場合には「字」ごとに代表的なものを記載してください。河川の距離標を明記してください。

⑨　申請工作物が完成（除却）に至るまでの工程、工法等がよくわかるように記載してください。工事の実施に当たっての治水上の措置、仮排水路及び工事に当たっての仮設物の措置並びに施工の順序等について、工事工程表に照応するよう具体的に記載してください。

⑩イ　少数点第３位以下の端数を切り捨てた数量を記載してください（（注）不動産登記法

　施行令第４条に準拠）。

ロ　占用区域が２県以上にまたがる場合は、内訳として○○県○○．○○㎡、○○県○○．○○㎡と記載してください。

ハ　河川管理者以外の者がその権原（所有権、賃貸借権等）に基づき管理する土地における工作物の新築、改築又は除却にあっては、「占用面積」及び「占用の期間」については記載する必要はありません。

ニ　電線等の占用面積の取り方は次のようにします。

ａ　電線等で電柱等に腕木がない場合は、電柱の元口の大きさを占用幅とし、延長を乗じたもの

ｂ　電線で電柱等に腕木がある場合は、腕木の最大の長さのものを占用幅とし、延長を乗じたもの

ｃ　索道（ケーブル）は、搬送する物体の大きさをもって占用幅とし（最小限の占用幅は、１．０ｍとする。）、延長を乗じたもの

ｄ　電柱等が河川区域内にあるときは、横枷丸太等の最大の長さのものを占用幅とし、正方形で積算したもの

＊S44.8.27付け河川部長通知｢河川を横過等する物件の取扱いについて｣参照。

⑪　占用の期間については、事務所又は出張所にお尋ねください。

なお、占用期間の更新許可の場合には、更新すべき占用期間を記載し、更新前の占用期間を赤字で付記してください。

⑫　変更許可申請

許可を受けた事項の変更の許可の申請にあっては、変更しない部分についても記載し、かつ変更する事項については、変更前のものを赤字で併記してください。

⑬　許可の同時申請

例えば、法第２７条第１項の許可申請を同時に行う場合は、（乙の５）を加えて申請してください。

〈提出部数〉申請書・添付図書　　正本１部　写し１部（局長決裁分は１部追加）

**【添付図書】（規則第１５条第２項）**

**１　事業の計画の概要を記載した図書**

①　事業計画の必要性

②　事業主体の概要

③　予想される利用の形態

④　事業に係る費用の概算

⑤　事業の実行に係る申請者の経済的、技術的能力が判断される書面

⑥　その他参考となるべき事項

イ　他の河川使用者に対する影響及びその対策

ロ　その他

**２　位置図**

縮尺は１／５０，０００とし、申請箇所を○印で表示し「申請箇所」と朱書してください。

**３　工作物の新築等に係る土地の実測平面図**

①　縮尺は１／５００程度としますが、地形の状況によっては１／１００～１／１，０００でもかまいません。

②　実測年月日を付記してください。

③　申請に係る行為によって、当該河川に影響があると判断される区域まで実測した図面とします。

④　堤防、護岸、水制、寄洲等の状況、流水の方向、道路等を図示した申請に係る占用区域の平面的な外形及び河川改修計画の法線を明示してください。

⑤　河川区域線を赤線で、官民境界線を赤点線で記入してください。河川区域が施工後変更になる場合、変更前後の区域を記入してください（判別できるように明示すること）。

⑥　横断図と照合できるよう横断図の測点を記入してください。

**４　工作物の設計図**

イ　設計図の内訳

ａ　工作物の平面図

ｂ　工作物の正面図（橋梁等河川の横過物にあっては、河川改修計画の計画断面、計画高水位及び余裕高を記入してください。）

ｃ　工作物の側面図（排水樋管等堤体横過物については、河川改修計画の計画断面を記入してください。）

ｄ　工作物の構造図（詳細図は適宜添付してください。）

ロ　正面図又は側面図は、申請工作物と現河床又は計画河床若しくは河川管理施設との関係が明らかになるように作成し、計画高水位を明示してください。

ハ　各図面には、河川区域及び官民境界線を明示してください。

ニ　堤体を横過して設置する工作物の側面図には流下勾配、敷高及び計画高水位を明示してください。

ホ　申請工作物設置のため仮締切を必要とするものは、その工法並びに計画高水位及び掘削、堤防との関係を明らかにした詳細図。

ヘ　図面には整理番号を付し、図面袋の表側に添付図面の一覧表を貼付してください。

**５　工事の実施方法を記載した図書**

例えば、仮締切を必要とするものについては、その工法を、道路との兼用工作物でもある堤防を開削する場合は、その交通対策を記載し、また、骨材置場やプラント設置はどのようにするのか、さらに治水上の配慮からどのような段取りで施工するのか等、工事の実施上の問題点とその対策を記載した図書を添付してください。

**６　占用する土地の面積計算書及び丈量図**

①　原則として実測平面図と同一のものを使用してください。

②　面積計算は㎡を単位とし、原則としで三斜法により小数点第３位まで計算し、合計面積は、小数点第３位を切り捨て、小数点第２位まで記載してください。ＣＡＤによる面積算出でもよい。

 **７　字図**

 字図上に、字名、工作物の絵、河川区域線、官民境界線及び流水の方向を記載し、地先表示を取った地番を赤色で丸囲みしてください。地番は河川区域外を取ってください。

**８　工事費概算書**

総体金額及びその内訳を記載した書面を添付してください。

**９　河川管理者が管理する国有地以外の土地の権原の取得又はその見込みを示す書類**

同意書又は契約書の写し等とし、これが得られない場合は得られる見込み等についての事情を詳しく記載した書面を添付してください。

**10　申請に係る行為又は事業に関する他の行政庁の許可、認可の取得又はその見込みに関する書類**（該当するものがない場合にはその旨を記載してください。）

**11　その他参考となるべき事項を記載した図書**

①　行為範囲を記載した図面

②　河川に排水を行うための工作物にあっては、次に掲げる図書

イ　排水行為に係る浄化施設の詳細図

ロ　排水について、次に掲げる事項に関する水質分析表

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項　　　目 | 最　　　大 | １日平均（24時間） |
|  排　水　量 |  |  |
|  水素イオン濃度（水素指数） |  |  |
|  生物化学的酸素要求量（単位１㍑につき５日間mg） |  |  |
|  浮遊物質量（単位１㍑につきmg） |  |  |

ハ　用排水樋管設置をするときは断面決定計算書

ニ　申請に係る現場の現況写真

ホ　排水の処理方法を記載した図書

**12　添付図書の省略等（規則第４０条）**

イ　許可の申請を同時に行う場合（例えば，法第２４条、第２６条第１項及び第２７条１項の申請等）に、添付図書のうち一つのものの内容が他のものの内容に含まれるときは当該図面は添付する必要はありません。

ロ　許可を受けた事項の変更の許可の申請にあっては、添付図書のうち変更に関する事項を記載したものを添付すれば足りますが、この場合は、変更の趣旨及び理由を記載した書面並びに既許可に係る許可書の写しを添付してください。

ハ　許可に係る行為が軽易なものであることその他の理由により添付図書の全部を添付する必要がないと認められるときは、当該図書の一部を省略することができます。

**４　法第２５条（土石等の採取）申請**

〔許可申請書〕規則別記様式第８（甲）

|  |
| --- |
| 許　可　申　請　書　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（文 書 番 号）・・①　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和○年○月○日 九州地方整備局長　殿　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　申請者　住所　○○市○○町○○番地・・②　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　○　○　○　○　　　・・③　別紙のとおり河川法第２５条の許可を申請します。　　　　　　　　　　　　　・・④ |
|

（Ａ４版）

〔別紙〕規則別記様式第８（乙の３）

|  |
| --- |
| （河川の産出物の採取）１　河川の名称・・⑤○川水系○○川○岸２　採取の目的・・⑥販売のため３　採取の場所及び採取に係る土地の面積・・⑦ ○岸　○○k○○付近○○県○○郡○○村○○字○○○番地先　　　○○平方メートル４　河川の産出物の種類及び数量・・⑧切込砂利　○○立方メートル５　採取の方法・・⑨機械掘りドラグラインバケット　容量○○立法メートル　馬力○○ＨＰ　台数○台掘削深現地盤高から最高○○メートル（別添縦断図及び横断図のとおり）採取した河川の産出物の搬出の方法及び経路トラック○台で運搬（一日平均○○立方メートル）とする。運搬経路は、採取地から堤防の取り付け道路より○岸堤防上○キロメートル下流に下った○○地点から○○メートル入ったプラントに運搬する。なお、詳細は別添図面に図示のとおりである。６　採取の期間許可の日から○日間⑩⑪ |
|

（Ａ４版）

**【記載要領】**

①　申請者が公共団体又は法人等であって文書番号による整理がなされているときは、文書番号を併記してください。個人申請については、必要ありません。

②　公共団体又は法人等についても「字○○番地」まで記載してください。

③イ　申請者が公共団体又は法人である場合においては、その公共団体又は法人の名称及び代表者の氏名を記載してください。

ロ　共同申請の場合は、共同申請人の氏名をすべて列記してください。

ハ　法人等の出先機関が、当該出先機関名で申請する場合は、申請する権限を有することを証する書面を添付してください。

二　河川法施行規則の改正により、押印は不要となりました。

　　（令和2年12月23日　官報号外第267号）

④　法第９５条の規定による国の特例の場合についてもこの様式を準用します。この場合「許可申請書」を「協議書」とし、協議文は「別紙のとおり河川法第２５条の許可について同法第９５条の規定により協議します。」と記載してください。

⑤　水系名、河川名、左右岸（河口に向かって）の別を記載してください。

⑥　「販売のため」等と具体的に記述してください。なお、用途規制河川にあっては「コンクリート用骨材に利用」等とその用途を明記してください。

⑦イ　「字○○番地先」まで明記してください。なお、採取場所が左右岸にまたがる場合は、左岸右岸に分けて記載してください。

ロ　民有地と国有地にまたがって採取する場合は、それぞれについて土地の面積を記載し、図面において色別で区別してください。河川の距離標も明記して下さい。

⑧　砂利、栗石、玉石、あし、かや等その種類及び数量を記載してください。

⑨イ　機械掘り又は手掘りの別を記載してください。なお、機械掘りにあっては、その機械の種類、能力及び数量並びに掘削深又は切り土の深さを記載してください。

ロ　採取した河川産出物の運搬方法及び経路を具体的に記述してください。

ハ　採取等により流水が汚濁する恐れがある時は、その処理方法を明記してください。

⑩　許可を受けた事項の変更許可申請にあっては、変更しない部分についても記載し、かつ変更する事項については、変更前のものを赤字で併記してください。

⑪　砂利採取の場合は、他に砂利採取法第１６条の認可申請書を同時に提出してください。

なお、添付すべき書類が同一のものについては、いずれか一方を添付すれば足ります。

〈提出部数〉申請書・添付図書　正本１部　写し１部

**【添付図書】**（規則第１３条第２項）

**１**　事業の計画の概要を記載した図書

①　事業計画の必要性

②　事業主体の概要

③　事業の実行に係る申請者の経済的、技術的能力が判断される書面

④　その他参考となるべき事項

イ　他の河川使用者に対する影響及びその対策

ロ　その他

**２　位置図**

縮尺は１／５０，０００とし、申請箇所を○印で表示し「申請箇所」と朱書してください。

**３　実測平面図**

①　縮尺は１／５００程度としますが、地形の状況によっては１／ｌ００～１／１，０００でもかまいません。

②　実測年月日を付記してください。

③　横断図と照合できるよう横断図の測点を記入してください。

**４　土石の採取の場合、実測縦断図及び実測横断図に計画地盤面を記載した図書**

①　横断図には、計画高水位を明示し、かつ、河川区域と官民境界線を明示してください。

②　申請地における河川の現況河床高、計画河床高、申請行為に係る計画地盤面を記載し、　土石採取に係る部分を明示してください。

**５　他の事業に及ぼす影響及びその対策の概要を記載した図書**

**６　申請に係る行為又は事業に関する他の行政庁の許可、認可の取得又はその見込みに**関する書類（該当するものがない場合にはその旨を記載してください。）

**７　その他参考となるべき事項を記載した図書**

河川の産出物を車輛等により搬出する場合は、その搬出経路を明示した図書を添付してください。

**８　添付図書の省略等**（規則第４０条）

イ　許可の申請を同時に行う場合（例えば，法第２４条、第２６条及び第２７条１項の申請等）に、添付図書のうち一つのものの内容が他のものの内容に含まれるときは当該図面は添付する必要はありません。

ロ　許可を受けた事項の変更の許可の申請にあっては、添付図書のうち変更に関する事項を記載したものを添付すれば足りますが、この場合は、変更の趣旨及び理由を記載した書面並びに既許可に係る許可書の写しを添付してください。

ハ　許可に係る行為が軽易なものであることその他の理由により添付図書の全部を添付する必要がないと認められるときは、当該図書の一部を省略することができます。

**５　法第２７条第１項（土地の掘削等）申請**

〔許可申請書〕規則別記様式第８（甲）

|  |
| --- |
| 許　可　申　請　書　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（文 書 番 号）・・①　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和○年○月○日 九州地方整備局長　殿　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　申請者　住所　○○市○○町○○番地・・②　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　○　○　○　○　　・・③　別紙のとおり河川法第２７条第１項の許可を申請します。　　　　　　　　　　　　　・・④ |
|

（Ａ４版）

〔別紙〕規則別記様式第８（乙の５）

|  |
| --- |
| （土地の形状の変更、竹木の栽植、竹木の伐採）・・⑤ｌ　河川の名称・・⑥○○川水系○○川○岸２　行為の目的・・⑦土石等の搬出のための取付道路の築造３　行為の場所及び行為に係る土地の面積・・⑧ ○岸　○○k○○付近○○県○○郡○○村○○字○○○番地先○○平方メートル４　行為の内容・・⑨堤防を堤内側に拡幅盛土する。幅員○メートル盛土勾配及び法覆工○割で総芝張り（その他申請書添付図面のとおり）５　行為の方法・・⑩土取場は、○○県○○郡○○村○○字○○○番地で、積込は、トラックショベル○台で行い、大型ダンプ（○ｔ積）○台で運搬する。盛土はランマーにより突き固めて申請断面とする。なお、運搬路は別添図面のとおりの経路により堤防天端を使用するものである。６　行為の期間許可の日から○日間⑪⑫ |
|

（Ａ４版）

**【記載要領】**

①　申請者が公共団体又は法人等であって文書番号による整理がなされているときは、文書番号を併記してください。個人申請については、必要ありません。

②　公共団体又は法人等についても「字○○番地」まで記載してください。

③イ　申請者が公共団体又は法人である場合においては、その公共団体又は法人の名称及び代表者の氏名を記載してください。

ロ　共同申請の場合は、共同申請人の氏名をすべて列記してください。

ハ　法人等の出先機関が、当該出先機関名で申請する場合は、申請する権限を有することを証する書面を添付してください。

二　河川法施行規則の改正により、押印は不要となりました。

　　（令和2年12月23日　官報号外第267号）

④　法第95条の規定による国の特例の場合についてもこの様式を準用します。この場合「許可申請書」を「協議書」とし、協議文は「別紙のとおり河川法第27条の許可について同法第95条の規定により協議します。」と記載してください。

⑤　申請内容に応じ、「（土地の形状の変更）」、「（竹木の栽植）又は「（竹木の伐採）」のうちで該当するものを記載してください。

⑥　水系名、河川名、左右岸の別を明記してください。

⑦　「土石採取のため」「排水路の開削のため」等と具体的に記述してください。

⑧イ　「字○○番地先」まで明記してください。なお、採取場所が左右岸にまたがる場合は、左岸右岸に分けて記載してください。河川の距離標を明記して下さい。

ロ　民有地と国有地にまたがって採取する場合は、それぞれについて土地の面積を記載し、図面において色別で区別してください。

⑨イ　土地の形状を変更する行為にあっては、掘削、盛土、切土等行為の種類及び掘削又は切土の深さ、盛土の高さを記載してください。

ロ　竹木の栽植又は伐採にあっては、竹木の種類及び数量を記載してください。

⑩イ　機械を使用して土地の形状を変更する場合にあっては、その機械の種類、能力及び台数を記載してください。

ロ　申請に係る行為に関して土石等の搬出を伴う場合にあっては、搬出又は搬出の方法及びその経路を付記してください。

⑪　変更許可申請

許可を受けた事項の変更許可申請にあっては、変更しない部分についても記載し、かつ変更する事項については、変更前のものを赤字で併記してください。

⑫　許可の同時申請

例えば法第24条・第26条第１項の許可申請と同時に行う場合は、（乙の４）を加えて申請してください。

**【添付図書】**（規則第16条第２項）

**１　事業の計画の概要を記載した図書**

①　事業計画の必要性

②　事業主体の概要

③　事業の実行に係る申請者の経済的、技術的能力が判断される書面

④　その他参考となるべき事項

イ　他の河川使用者に対する影響及びその対策

ロ　その他

**２　位置図**

縮尺は１／５０，０００とし、申請箇所を○印で表示し「申請箇所」と朱書してください。

**３　実測平面図**

①　縮尺は１／５００程度としますが、地形の状況によっては１／１００～１／１，０００でもかまいません。

②　実測年月日を付記してください。

③　横断図と照合できるよう横断図の測点を記入してください。

**４　土地の形状を変更する行為にあっては、当該行為に係る土地の実測縦断図及び実測横断面図に当該行為に係る計画地盤面を記載したもの。**

①　実測年月日を付記してください。

②　横断面図は、現況河床高、計画河床高、計画高水位を明示し、かつ、河川区域と官民境界線を明示してください。

**５　他の事業に及ぼす影響及びその対策の概要を記載した図書**

掘削等の行為により、他の河川使用者、漁業権者等に影響がある場合には、影響の内容及びその対策についての概要を記載してください。（該当するものがない場合は、その旨を記載してください。）

**６　河川管理者が管理する国有地以外の土地において掘削等を行う場合にあっては、当該土地の掘削等を行うことについて申請者が権原を有することを証する同意書又は契約書の写し等又は権原を取得する見込みが十分であることを示す書面**

**７　土地の掘削等に係る行為又は事業に関し、他の行政庁の許可、認可その他の処分を受けることを必要とするときは、許可書、認可書の写し又は受ける見込みに関する書面**（該当するものがない場合にはその旨を記載してください。）

**８　その他参考となるべき事項を記載した図書**

①　行為面積計算書

②　土地の形状を変更する行為に関して、土石等の搬入又は搬出を伴う場合にあっては、搬入、搬出の経路を示した図書

**９　添付図書の省略等**（規則第４０条）

イ　許可の申請を同時に行う場合（例えば，法第２４条、第２６条及び第２７条１項の申請等）に、添付図書のうち一つのものの内容が他のものの内容に含まれるときは当該図面は添付する必要はありません。

ロ　許可を受けた事項の変更の許可の申請にあっては、添付図書のうち変更に関する事項を記載したものを添付すれば足りますが、この場合は、変更の趣旨及び理由を記載した書面並びに既許可に係る許可書の写しを添付してください。

ハ　許可に係る行為が軽易なものであることその他の理由により添付図書の全部を添付する必要がないと認められるときは、当該図書の一部を省略することができます。

**６　令第１６条の５（汚水の排出の届出）**

〔届出書〕規則別記様式第８の３

|  |
| --- |
| 汚水排出届出書　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（文 書 番 号）・・①　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和○年○月○日 九州地方整備局長　殿　　　　　　　　　　　　　　　　　届出人　住所　○○市○○町○○番地・・②　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　○○株式会社　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　代表取締役　○○○○　　・・③河川法施行令第１６条の５の規定により、次のとおり届け出ます。１　汚水を排出しようとする河川の種類及び名称一級河川○○川水系○○川２　汚水を排出しようとする場所‥④ ○岸　○○k○○付近○○県○○郡○○町大字○○○○番地先（○○川○岸）３　汚水の排出の方法及び期間・・⑤・○○工場よりポンプ排水により直接川に放流する。・期間は令和○年○月○日～令和○年○月○日まで４　排出しようとする汚水の量・・⑥１日当たり　８００立法メートル／Ｄ時間当たり　１００立法メートル／ｈ５　排出しようとする汚水の水質‥⑦ |
|  | 水質項目 | 平均値 | 最大値 | 備　考 |  |
| 　ＰＨ　ＣＯＤ　ＢＯＤ　ＳＳ |  ○．○  ○mg/l  ○mg/l  ○mg/l |  ○．○  ○mg/l  ○mg/l  ○mg/l |  |
|  |
| ６　排出しようとする汚水の処理の方法・・⑧活性汚泥法により処理を行い、排水の水質が水質汚濁防止法及び都道府県知事が定めている条例等に適合する水質により処理して放流する。 |
|

（Ａ４版）

**【記載要領】**

①　届出人が公共団体又は法人等であって文書番号による整理がなされているときは、文書番号を併記してください。

②　公共団体又は法人等についても「字○○番地」まで記載してください。

③イ　公共団体又は法人である場合は、その公共団体又は法人の名称及び代表者氏名を記載してください。

ロ　河川法施行規則の改正により、押印は不要となりました。

　　（令和2年12月23日　官報号外第267号）

④　排出口の所在地及び河川の左右岸（河口に向かって）の別、河川の距離標を記載してください。

⑤　ポンプ排出又は自然排出の別、排出口の構造の概要並びに排出の開始及び終了の時期を記載してください。

⑥　日量及び時間量を記載してください。

⑦　化学的酸素要求量（ＣＯＤ）、生物化学的酸素要求量（ＢＯＤ）、水素イオン濃度（ＰＨ）、浮遊物質量（ＳＳ）、その他項目ごとに平均値及び最大値を記載してください。ただし、その他の項目については、汚水の種類に応じた必要な範囲で記載してください。

⑧　活性汚泥法、標準散水濾床法、沈殿法等の処理の方法及びこれらの方法に応じて設置する沈澱池、エアレーションタンク、中和槽、油脂分離槽等の施設の名称、数量等を記載してください。

〈提出部数〉申請書・添付図書　正本１部　写し１部

**【添付図書】**

**１　位置図**（１／５０，０００）

**２　汚水排出経路概要図**（汚水処理系統を含む。）

**３　処理方法の構造図**

**７　法第３３条第３項（地位の承継届）**

〔届出書〕規則別記様式第１１

|  |
| --- |
| 地　位　承　継　届　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（文 書 番 号）・・①　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和○年○月○日 九州地方整備局長　殿　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　届出人　住所　○○市○○町○○番地・・②　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　○　○　○　○　　　・・③河川法第３３条第３項の規定により、次のとおり届け出ます。１　河川の名称‥④○○川水系○○川○岸　２　被承継人　住所　○○県○○市○○町○○番地　　　　 　○○○○　３　承継の年月日‥⑤平成○年○月○日　４　承継に関する事実・・⑥父○○○○死亡に伴う相続５　許可の年月日及び番号‥⑦平成○年○月○日国九○○○第○○号６　許可の内容及び条件の概要‥⑧別紙のとおり |
|

（Ａ４版）

〔別紙〕

|  |
| --- |
| １　許可の内容①　占用の目的　畑耕作（　　　）のため②　占用の場所　○○県○○市○○町○○番地先から○○番地先まで③　占用面積　○○．○○㎡④　占用の期間　平成○年○月○日から令和○年○月○日その他別添許可書写しのとおり２　許可の条件①　許可受者は、この許可に係る許可期限が到来し引き続き占用する意思がないと認められるとき、又はこの許可が失効したときは、所長の指示するところにより、許可受者の費用負担において、原状回復しなければならない。②　許可期限が到来したときは、この許可はその効力を失う。その他別添許可書写しのとおり |
|

（Ａ４版）

**【記載要領】**

①　申請者が公共団体又は法人等であって文書番号による整理がなされているときは、文書番号を併記してください。個人申請については、必要ありません。

②　公共団体又は法人等についても「字○○番地」まで記載してください。

③イ　届出人または被承継人が法人である場合においては、氏名は、その法人の名称及び代表者の氏名を記載し、ふりがなを付けてください。

ロ　法人等の出先機関が、当該出先機関名で申請する場合は、申請する権限を有することを証する書面を添付してください。

ハ　河川法施行規則の改正により、押印は不要となりました。

　　（令和2年12月23日　官報号外第267号）

④　承継しようとする許可についての許可書に記載された水系名、河川名、左右岸の別を明記してください。

⑤　承継した年月日を記載してください。

⑥　相続、合併など承継の原因及び承継した地位の内容を記載してください。

⑦　承継しようとする許可についての許可書に記載された許可の年月日及び番号を記載してください。

⑧　承継しようとする許可についての許可書に記載された許可の内容を記載するとともに、特別な条件が付されている場合には、それを記載してください。

なお、別紙において記載することもできます。その場合には、当該欄は「別紙のとおり」と記載し、別紙にその内容を記載してください。

**【添付図書】**（規則第２１条第２項）

**１　地位の承継を示す書面**

①　相続の場合・・・戸籍謄本

②　合併の場合・・・合併後存続した会社又は合併後設立した会社の登記簿謄本

③　譲渡又は賃貸借等の場合…売買契約書又は賃貸契約その他これに対する権利取得に関する文書の写し

**２　承継しようとする許可に係る許可書の写し**

**３　その他参考となるべき事項を記載した図書**

①　届出人が地位の承継者であることを示す疎明書

②　届出人以外の共同相続人がこの許可に基づく地位の承継について相続分を放棄したことを示す書面

**８　法第３４条第１項（権利の譲渡）申請**

〔承認申請書〕規則別記様式第１２

|  |
| --- |
| 権利譲渡承認申請書　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（文 書 番 号）・・①　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和○年○月○日 九州地方整備局長　殿申請者　譲り渡そうとする者　　　　　　　住所　○○市○○町○○番地・・②　○　○　○　○　　・・③譲り受けようとする者　　　　　　住所　○○市○○町○○番地・・②　○　○　○　○　　・・③次のとおり河川法第３４条第１項の承認を申請します。１　河川の名称‥④○○川水系○○川○岸　２　譲渡しようとする権利の内容‥⑤河川法第２４条に基づく土地占用権３　許可の年月日及び番号‥⑥平成○年○月○日国九○○号４　許可の内容及び条件の概要・・⑦別紙のとおり |
|

（Ａ４版）

〔別紙〕

|  |
| --- |
| １　許可の内容①　占用の目的　ゴルフ場を経営するため②　占用の場所　○○県○○市○○町○○番地先から○○番地先③　占用面積　○○○．○○㎡④　占用の期間　平成○年○月○日から令和○年○月○日まで　その他別添許可書写しのとおり２　許可の条件①　許可受者は、この許可に係る許可期限が到来し引き続き占用する意思がないと認められるとき、又はこの許可が失効したときは、所長の指示するところにより、許可受者の費用負担において、原状回復しなければならない。②　許可期限が到来したときは、この許可はその効力を失う。その他別添許可書写しのとおり |
|

（Ａ４版）

**【記載要領】**

①　申請者が公共団体又は法人等であって文書番号による整理がなされているときは、文書番号を併記してください。個人申請については、必要ありません。

②　公共団体又は法人等についても「字○○番地」まで記載してください。

③イ　申請者が公共団体又は法人である場合においては、その公共団体又は法人の名称及び代表者の氏名を記載してください。

ロ　法人等の出先機関が、当該出先機関名で申請する場合は、申請する権限を有することを証する書面を添付してください。

ハ　河川法施行規則の改正により、押印は不要となりました。

　　（令和2年12月23日　官報号外第267号）

④　譲渡しようとする権利について、譲り渡そうとする者が受けた許可書に記載された水系名、河川名、左右岸の別を明記してください。

⑤　河川法第２４条に基づく占用許可等河川法第２３条から第２５条までの権利を記載してください。

⑥　譲渡しようとする権利について、譲り渡そうとする者が受けた許可書に記載のものを明記してください。

⑦　譲渡しようとする権利について、譲り渡そうとする者が受けた許可書に記載された許可の内容を明記するとともに、特別な条件が付されている場合にはそれを記載してください。

なお、別紙において記載することもできます。その場合には、当該欄は「別紙のとおり」と記載し、別紙にその内容を記載してください。

**【添付図書】**（規則第２２条第２項）

**１　譲渡に関する当事者の意思を示す書面（契約書の写し）**

**２　譲渡の理由及び譲渡しようとする年月日を記載した書面**

**３　譲り受けようとする者の事業の計画の概要を記載した図書**

**４　譲り受けようとする者が、会社等の場合は会社の定款及び商業登記簿**

**５　譲り渡そうとする権利に関する許可書の写し**

**６　位置図**

イ　縮尺は１／５０，０００とします。

ロ　承認申請箇所を○印で示し、「申請箇所」と赤書きしてください。

**７　その他参考となるべき事項を記載した図書**

**９　その他簡易な申請**

**（１）　法第２４条の期間更新**

〔許可申請書〕規則別記様式第８（甲）

|  |
| --- |
| 許　可　申　請　書　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（文 書 番 号）・・①　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和○年○月○日 九州地方整備局長　殿　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　申請者　住所　○○市○○町○○番地・・②　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　○　○　○　○　　　・・③　別紙のとおり河川法第２４条の許可を申請します。　　　　　　　　　　　　　・・④ |
|

（Ａ４版）

〔別紙〕規則別記様式第８（乙の２）

|  |
| --- |
| （土地の占用）１　河川の名称・・⑤○○川水系○○川○岸２　占月の目的及び態様・・⑥運動場（○○市で管理し、申込みによって使用させる。）３　占用の場所・・⑦ ○岸　○○k○○付近○○市○○町○○番地先（添付図書の実測平面図に○色で着色した部分）４　占用面積・・⑧○○○．○○㎡５　占用の期間・・⑨令和○年○月○日まで（又は○年間）平成○年○月○日から令和○年○月○日まで（更新前の占用期間：赤字）⑩ |
|

（Ａ４版）

**【記載要領】**

①　申請者が公共団体又は法人等であって文書番号による整理がなされているときは、文書番号を併記してください。個人申請については、必要ありません。

②　公共団体又は法人等についても［字○○番地］まで記載してください。

③イ　申請者が公共団体又は法人である場合においては、その公共団体又は法人の名称及び代表者の氏名を記載してください。

ロ　共同申請の場合は、共同申請人の氏名をすべて列記してください。

ハ　法人等の出先機関が、当該出先機関名で申請する場合は、申請する権限を有することを証する書面を添付してください。

ニ　河川法施行規則の改正により、押印は不要となりました。

　　（令和2年12月23日　官報号外第267号）

④　法第９５条の規定による国の特例の場合についてもこの様式を準用します。この場合「許可申請書」を「協議書」とし、協議文は「別紙のとおり河川法第２４条の許可について同法第９５条の規定により協議します。」と記載してください。

⑤　水系名、河川名、左右岸（河口に向かって）の別を記載してください。

⑥　田、畑、運動場、公園等を設置する等のために使用する旨を記載し、さらにその使用方法の概要を記載してください。なお、占用期間の更新許可の申請の場合は、「占用期間の更新のため」と記載してください。

⑦　「字○○○○番地先」まで記載してください。当該工作物の敷地が数個の「字」にわたる場合は原則としてそのすべてを記載し、数個の地番にわたる場合に「字」ごとに代表的なものを記載してください。河川の距離標を明記して下さい。

⑧　小数点第３位以下の端数を切り捨てた数量を記載してください（（注）不動産登記法

　施行令第４条に準拠）。

なお、占用区域が２県以上にまたがる場合は、内訳として○○県○○．○○㎡、○○県○○．○○㎡と記載してください。

⑨　占用の期間については、事務所又は出張所にお尋ねください。

なお、占用期間の更新許可の場合には、更新すべき占用期間を記載し、更新前の占用期間を赤字で付記してください。

⑩　許可を受けた事項の変更の許可の申請にあっては、変更しない部分についても記載し、かつ変更する事項については、変更前のものを赤字で併記してください。

〈提出部数〉申請書・添付図書　　正本１部　写し１部

**【添付図書】**（S58.4.4付け河川部長通知｢河川法第２４条に係る許可申請書の添付図書について｣参照）

**１　継続を必要とする理由書**

**２　図面（位置図、構造一般図、横断図等で占用面積及び一般構造が確認できるもの）**

**３　申請に関し、他の行政庁の許可、認可の取得又はその見込みに関する書類**

**４　許可書の写し**

**５　現況写真**

※　上記１～５については、その内容を把握できる場合は省略できることもありますので、事務所又は出張所にご相談ください。

**１０　砂利採取法第１６条（採取計画の認可）申請**

様式第１〔砂利の採取計画等に関する規則第３条〕

|  |
| --- |
|  |
|  | 収入印紙（又は収入証紙）はり付け欄（消印を押してはならない） |  　　・・① |
| ・・② 　　採取計画認可申請書 | ×整理番号 |  |
| ×審査結果 |  |
| ×受理年月日 | 年　月　日 |
| ×認可番号 |  |
|  　令和○年○月○日 |
|  |
|  九州地方整備局長　殿　　　　　　　住　所　○○県○○市○○町○○番地氏名又は名称及び法人にあってはその代表者の氏名○○株式会社代表取締役　○○○○　　　・・③登録年月日及び登録番号・・④令和○年○月○日、○○○－○○○－○○○砂利採取法第１６条の規定により、次のとおり採取計画の認可を申請します。１　砂利採取場の区域・・⑤①　採取場の所在地　○○県○○市○○町○○番地②　面　　　積　　　○○○㎡③　筆　別　明　細　○○番地　雑種地○○○㎡２　採取する砂利の種類及び数量・・⑥ |
|  | 種　別 | 採取量（立方メートル） | 備　考 |  |
| 砂利 |  |  |
| 砂 |  |  |
| 玉石 |  |  |
| 掻込砂利 |  |  |
| 小　計 |  |  |
| 表土及び廃石土 |  |  |
| 合　計 |  |  |
| ３　採取の期間認可の日から○ヶ月間（採取掘削○ヶ月、埋戻○ヶ月）４　砂利の採取の方法及び採取のための設備その他の施設に関する事項・・⑦①　採取の方法　　　機械掘り②　採取のための設備 |
|  |  採取（積込を含む）機械  |  |
|  機械の名称及び型式  | 台　数 |  能　力  |  備　考  |
| ポンプ船　○○丸　口径○○ｲﾝﾁ水洗選別機　可搬式バケットショベルバックホー（採・積兼用）（石川島コーリング製）  | １１１１ | 1000馬力３．３立方ﾒｰﾄﾙ０．７立方ﾒｰﾄﾙ |  |
|  |
|  |  洗浄・選別及び砕石機械  |  |
|  機械の名称及び型式  | 台　数 |  能　力  |  備　考  |
| 砕石プラント（砕石、洗浄、選別）予備砕石プラント（　　〃　　） | 　１　１  | ３５立方ﾒｰﾄﾙ／ｈ２０立方ﾒｰﾄﾙ／ｈ |  |
| ③　その他の施設イ　プラントａ　所　在　地　　○○県○○郡○○町字○○○○番地ｂ　土地の現況　　工場敷地ｃ　地目及び面積　宅地 ○○○㎡ｄ　そ　の　他ロ　沈殿池ａ　所　在　地　○○県○○郡○○町字○○○○番地先ｂ　容　　　量　○○立方ﾒｰﾄﾙ（縦×横×深さ）ｃ　そ　の　他・・⑧　　④　採取砂利の処理・・⑨洗浄選別場への搬出ａ　洗浄選別場所所在地　　　○○県○○郡○○町字○○○○番地ｂ　名　　　　　　称　　　　○○○○ｃ　認可年月日及び認可番号　令和○年○月○日（○○○○号）⑤　その他の必要事項イ　掘削面積　　　　　　　　　　○○㎡ロ　掘削の深さ　　　　　　　　　最大○○mハ　勾配　　　　　　　　　　　　○○割ニ　保安距離　　　　　　　　　　○○mホ　掘進方法ヘ　１日平均取水量　　　河川は　○○立方ﾒｰﾄﾙ　　　　　　　　　　　　地下水　○○立方ﾒｰﾄﾙト　１日平均排水量　　　　　　　○○立方ﾒｰﾄﾙチ　排水する水路または河川名　　○○川水系○○川５　砂利の採取に伴う災害の防止のための方法及び施設に関する事項・・⑩６　採取した砂利の水切りの方法及び設備その他の施設に関する事項・・⑪・・⑫ |
|

（Ａ４版）

**【記載要領】**

①　×の項は、記載しないでください。

②　収入印紙額は、砂利採取法第１６条の認可を受けようとする場合は、３万７千円程度となります（砂利採取法施行令第３条）。

③　砂利の採取計画等に関する規則の改正により、押印は不要となりました。

　　（令和2年12月28日　官報号外第277号）

④　砂利採取法第３条に基づく砂利採取業の登録年月日及び登録番号を記載して下さい。

⑤　砂利採取場の所在地及び面積を記載してください。

⑥　採取する砂、砂利または玉石の種類ごとの数量及び全体の掘削又は切土の総量をそれぞれ立方メートル単位で記載してください。

⑦　機械堀り又は手堀りの別を記載するとともに採取の工程ごとに砂利の採取に係る設備その他の施設の種類、能力及び数並びに掘削又は切土をする土地の面積及び深さ等を記載してください。

⑧　環流方式・非環流方式の別、堀込式・築堤方式の別、導水、排水方法などを記載してください。

⑨　採取砂利の処理の方法を具体的に記載してください（記載例の他には、自家洗浄、原石販売などが考えられます。自家洗浄の場合は洗浄場所在地並びに認可年月日及び認可番号を、原石販売の場合は、販売先及び所在地を記載してください。）。

⑩　各工程ごとに以下の内容を記載してください。

イ　掘削（切土を含む。以下同じ。）工程

ａ　除去した土等の処理方法

ｂ　掘削時の土砂崩れの防止の方法

ｃ　廃土石の処理方法

ロ　洗浄工程

ａ　汚濁水の処理方法（水質汚濁防止法（昭和４５年法律第１３８号）第２条第１項に規定する公共用水域に汚濁水を排出する場合は、同条第４項に規定する「排出水」に係る同法第３条第１項又は第３項に規定により定められた「排出基準」を遵守するための方法）

ｂ　ヘドロの処理方法

ハ　土地の掘削の跡地の埋め戻しその他の処理の方法

⑪　砂利の運搬時に砂利運搬車から水が垂れるのを防止するため、水切り場に適当な時間堆積する方法、または、運行責任者を置き、運行車の水垂れの点検方法等を具体的に記載してください。

⑫　河川区域内で砂利採取を行う場合は、他に河川法第２５条の許可申請書を同時に提出してください。（添付すべき書類が同一のものについては、いずれか一方を添付すれば足ります。）

〈提出部数〉

申請書・添付図書　正本　１部

　　　　　　　　　写し　砂利採取場の所在する市町村の数に３を加えた部数

　　　　　　　　　　　　（砂利の採取計画等に関する規則第３４条第２項）

**【添付図書】**（砂利の採取計画等に関する規則第３条）

**１　位置図**（縮尺１／５０，０００）

**２　採取場及び周辺の見取図**

**３　実測平面図**（縮尺１／５００程度。地形の状況によっては１／１００～１／１，０００）

**４　掘削または切土に係る土地の実測縦断図及び実測横断図に計画地盤面を記載した図書**

**５　砂利採取業者の登録を受けていることを示す書面**

**６　事務所の名称、所在地、業務主任者の氏名及び当該業務主任者が採取計画に従って採取されるよう監督するための計画を記載した書面**

**７　河川管理者が管理する国有地以外の土地の権原の取得及びその見込みを示す書類**

**８　申請に関し、他の行政庁の許可、認可の取得及びその見込みに関する書類**

**９　埋め戻しを行う場合は、土砂の確保されていることまたはその見込みに関する書類及びその土砂を運搬する経路を記載した書面**

**１０　砂利採取場からの搬出の方法及び国道又は県道までの経路を記載した書面**

**１１　その他参考となるべき事項を記載した図書**

**１１　砂利採取法第２０条第１項（変更の認可）申請**

様式第２〔砂利の採取計画等に関する規則第４条〕

|  |
| --- |
|  |
|  | 収入印紙（又は収入証紙）はり付け欄（消印を押してはならない） |  ・・① |
| ・・② 採取計画の変更認可申請書 | ×整理番号 |  |
| ×審査結果 |  |
| ×受理年月日 | 年　月　日 |
| ×認可番号 |  |
|  　令和○年○月○日 |
|  |
|  九州地方整備局長　殿　　　　　　　住　所　○○県○○市○○町○○番地氏名又は名称及び法人にあってはその代表者の氏名○○株式会社代表取締役　○○○○　　・・③登録年月日及び登録番号・・④令和○年○月○日、○○○－○○○－○○○砂利採取法第２０条第１項の規定により、次のとおり採取計画の変更の認可を申請します。１　採取計画の変更の内容 |
|  |  従前の採取計画の内容  |  変更の内容  |  |
|  切込砂利採取量　○，○○○トン  |  切込砂利採取量　○，○○○トン  |
| ２　変更の理由○○○により、採取量が減少するため。 |
|

（Ａ４版）

**【記載要領】**

①　×の項は、記載しないこと。

②　収入印紙額は、砂利採取法第２０条第１項の規定による変更の認可を受けようとする場合は、１万７千円程度となります（砂利採取法施行令第３条）。

③　砂利の採取計画等に関する規則の改正により、押印は不要となりました。

　　（令和2年12月28日　官報号外第277号）

④　砂利採取法第３条に基づく砂利採取業の登録年月日及び登録番号を記載して下さい。

**【添付図書】**（砂利の採取計画等に関する規則第４条第２項）

採取計画認可申請時の添付図書（Ｐ．５２参照）のうち、採取計画の変更により記載内容の変　更を必要とするものを添付してください。

別記様式第８（第１０条関係）

**１２　着工届**

別記様式第９（第１１条関係）

着　　工　　届

年　月　日

○○河川事務所長 殿

申請者 住所 ○○市○○町○○番地

ふりがな

氏名 ○ ○ ○ ○

年　月　日の国九整○○○第○○号で許可（同意）を受けた土地の占用（○○川河川敷公園）については、下記のとおり工事に着手いたしますので、許可条件第○に基づき、届け出ます。

１　河川の名称　　○○川水系○○川○岸

２　目　　　的　　公園

３　場　　　所　　○○県○○郡○○町○○大字○○　○○○番地先

４　工　　　期　　　　年　月　日～　　年　月　日

５　着工年月日　　　　年　月　日

６　そ　の　他　　施行業者　　○○建設株式会社

　　　　　　　　　　　現場責任者　○○○○

　　　　　　　　　　　電話番号　○○○－○○○－○○○

【添付図書】

１ 工期日程表

２ 許可書又は水利使用規則の写し

**１３　完了届**

|  |
| --- |
| 完　　了　　届令和○年○月○日佐賀河川事務所長　殿申請者　住所　○○市○○町○○番地　○　○　○　○　　　　　　平成〇年○月○日の国九〇〇〇第○○号で許可（同意）を受けた工作物の新築（○○橋）については、下記のとおり工事が完了したので、届け出るとともに許可条件第○の規定による竣功検査を申請いたします。１　河川の名称　○○川水系○○川○岸２　目　　的　　橋梁３　場　　所　　○○県○○郡○○町大字○○　○○○番地先４　工　　期　　平成○年○月○日～令和○年○月○日５　完了年月日　令和○年○月○日６　竣功検査希望日　令和○年○月○日 |
|

**１４　廃止届**

別記様式第１１（第１２条関係）

土地返還届出書

年 月 日

九州地方整備局長 殿

届出人 住所氏名

年 月 日国九整○第○号による河川法第２４条の許可に基づき占用していた下記の土地については、返還します。

記

（１）河川の名称

（２）占用の目的及び態様

（３）占用の場所

（４）占用面積

（５）許可期限

（６）土地返還の理由

別記様式第１２（第１２条関係）

工作物用途廃止届出書

年 月 日

九州地方整備局長 殿

届出人 住所

氏名

年 月 日付け○○第○○号で河川法第２６条の許可を受けて設置した○○○○○の用途を廃止したので、河川法第３１条第１項の規定に基づき、下記のとおり届け出ます。

１　河川の名称　○○川水系○○川

２　場所　　　　左岸　○○県○○市○○町○○番地先

右岸　○○県○○市○○町○○番地先

３　工作物の名称又は種類

○○○○○

４　工作物の構造又は能力

５　工作物の用途廃止年月日

年　　月　　日

６ 工作物の用途廃止の理由

○○○は、○○年に築造されたが、その後○○年間が経過し、老朽化が進んで維持管理上も支障が生じ、新たに○○○の用途を廃止した。

７ 用途廃止後の措置

河川法第２６条の工作物の除却の許可を得て、添付の工程表に従い○○○○を除却する。